

## 「列の操作」機能について

- 列の操作コマンドは、列に関するコマンドをすべてまとめたものです。列の移動、書式設定、幅調整、名前の変更、数式列の追加、行番号の挿入、複製、分割、挿入、削除、表示／非表示の機能があります。

① 「ActiveData」タブをクリックします。

② 「ActiveDataワークシートコマンド」グループ内の「列」から「列の操作」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	請求番号	請求日	支払日	顧客番号	営業担当者番号	製品番号	数量	単価	金額
2	20000	2010/1/1	2010/3/5	10220		8	8		
3	20001	2010/1/1	2010/2/9	10491		4	4	4	279.00 1,116.0
4	20002	2010/1/1	2010/2/22	10704		3	1	3	299.90 899.7
5	20003	2010/1/1	2010/2/9	10430		5	54		
6	20004	2010/1/1	2010/2/28	10841					
7	20005	2010/1/1	2010/2/24	10777					
8	20006	2010/1/1	2010/2/5	10653					
9	20007	2010/1/1	2010/2/27	10413					
10	20008	2010/1/1	2010/1/23	10654		12	4	3	279.00 837.0
11	20009	2010/1/1	2010/1/26	10300		1	10	2	279.00 558.0
12	20010	2010/1/1	2010/2/21	10439		19	38	4	268.00 1,072.0

## 「列」 【列の操作】機能説明

列の操作コマンドにより、エクセルに表示されている列を操作することができます。



- 「上に移動」「下に移動」「位置指定」：  
選択した列の位置を変えることができます。
- 「書式設定」：  
選択した列の書式設定ウィンドウが表示され、表示形式、配置、フォントなどの変更を行うことができます。
- 「幅調整」：  
選択した列の幅の自動サイズ調整を行います。
- 「名前の変更」：  
先頭行に表示される各列のタイトルの名前を変更することができます。
- 「数式列追加」：  
選択した列の前に数式列を挿入することができます。
- 「行番号挿入」：  
ワークシート上のアクティブセルの左側に新しい列が挿入され、Excelの行番号がそのまま付与されます。
- 「複製」：  
選択した列を複製し、選択した列の前に挿入させることができます。
- 「分割」：  
「列の分割」ウィンドウが開き、様々な条件を設定して列を分割できます。
- 「挿入」：  
選択した列の前に空欄を挿入することができます。
- 「削除」：  
選択した列を削除します。
- 「表示/非表示」：  
選択した列の表示と非表示を切り替えることができます。